

2022 シンポジウム

彫刻を

さわる

時間

彫刻を「つくる」「さわる」

彫刻をさわって楽しみ、そのかたちを深く味わい、新しい世界との出会いを生み出していく。そのような可能性をさら広げていく試みとして、昨年度に引きつづき、「彫刻をさわる時間」のシンポジウムを開催します。今年度は大分県立盲学校の子どもたちに向けて実施する、彫刻家・高見直宏氏による作品制作ワークショップをふまえて、彫刻を「つくる」「こと」「さわる」ことの関係について考えていきます。

2022年

日時：11月3日〔木・祝〕
13:30~16:30

会場：大分大学教育学部
附属教育実践総合センター
多目的演習室
〒870-0819 大分市王子新町1-1
(大分大学王子キャンパス内)

参加費：無料

参加方法：会場(定員:15名)、Zoom(定員:200名)
(対面およびZoomによるオンライン配信)

申込期限：10月31日〔月〕

申込先



Web会議ツール「Zoom」での参加希望は、こちらの申し込みフォームからお願いします。会場での参加を希望される場合は、下記問合せ先にメールまたはFAXでご連絡ください。(先着15名・裏面参照)

大分大学教育学部 田中修二研究室
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
E-mail: tnkshj@oita-u.ac.jp
Tel/Fax: 097-554-7596

※お問い合わせはメールまたはFAXでお願いいたします

問合せ先

講師・パネリスト
高見 直宏・彫刻家

パネリスト
広瀬 浩二郎・国立民族学博物館
学術資源研究開発センター 准教授
篠原 聡・東海大学 ティーチング
クオリフィケーションセンター 准教授
永嶺 ひろ子・大分県立盲学校 校長
村上 佑介・大分大学 教育学部 講師

ファシリテーター
田中 修二・大分大学 教育学部 教授

講師・パネリスト・ファシリテーター プロフィール

INSTRUCTOR
PANELIST

高見 直宏 (たかみ なおひろ)

1973年 東京生まれ。彫刻家。2002年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。学生時代に網膜色素変性症であることが発覚し、その後症状の進行に応じて、写実ではないイメージの形を追うようになる。最近の主な展覧会として、2021年「手の世界制作」(東海大学松前記念館、神奈川)、「ユニバーサル・ミュージアム」(国立民族学博物館、大阪)、2022年「開館20周年記念展 Flower of Life 生命の花」(ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡)などがある。

広瀬浩二郎 (ひろせ こうじろう)

1967年東京都生まれ。13歳のときに失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。2001年より国立民族学博物館に勤務。現在は学術資源研究開発センター・准教授。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、「さわる」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施。無視覚流鑑賞法の創始者。

篠原 聰 (しのはら さとし)

1973年東京生まれ。専門は日本近代美術史(美人画)と博物館学。2006年成城大学大学院文学研究科(美学・美術史専攻)博士課程後期単位取得退学。東海大学課程資格教育センター講師を経て、2012年より同センター(現・ティーチングクオリフィケーションセンター)准教授。ユニバーサル・ミュージアムの実現に向け、「さわる」をキーワードに、展示物に触れる市民向けの講座や大学にある彫刻のメンテナンス・イベント、さまざまな分野の専門家による「触覚」と彫刻の可能性を議論するシンポジウムなどを実施している。

永嶺 ひろ子 (ながみね ひろこ)

1966年大分県生まれ。1989年大分大学教育学部小学校教員養成課程卒業。高等学校の勤務を経て、2017年大分県教育センター教育相談部指導主事、2019年大分県立大分豊府中学校教頭、2020年同校副校長。2021年より大分県立盲学校長に着任。同年、大分県立盲学校として「彫刻をさわる時間」に参加。2022年4月より大分県造形教育研究会副会長(特別支援)。

村上 佑介 (むらかみ ゆうすけ)

1987年愛媛県生まれ。2014年広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。大阪城南女子短期大学講師を経て、2020年より大分大学教育学部講師。専門は彫刻制作、美術教育。主な作品に《不自由な抱擁》(「第45回日彫展」日彫賞受賞、2015)、《そしてまた夢を見る》(「第46回日彫展」日彫賞受賞、2016)などがある。日本彫刻会陳列委員(2016~)、大学美術教育学会会員(2012~)。

田中 修二 (たなか しゅうじ)

1968年京都市生まれ。成城大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。専門は近代日本美術史。大分大学教育学部教授。屋外彫刻調査保存研究会運営委員。主な著書に、『近代日本彫刻史』(2018年)など。2007年度より大分市と連携して屋外彫刻作品のメンテナンスを実施。大分県障がい者の芸術活動支援懇談会委員(会長)(2015~16年)、大分県文化振興県民会議委員(会長)(2016年~)。

田中 佐和子 (たなか さわこ)

1976年大分県生まれ。1999年大分大学教育学部小学校教員養成課程卒業。高等学校の勤務を経て、2008年より大分県立新生支援学校教諭。2011年より大分県立日出支援学校、2017年より大分県立盲学校勤務。大分県立盲学校特別支援教育コーディネーターを経て、現在、同校の幼稚部担任。



彫刻を「つくる」「さわる」

SYMPOSIUM in OITA 01:30-04:30pm, November 3, 2022

彫刻を

PROGRAM

13:30	開会、趣旨説明 豊友会会長ごあいさつ
13:40	大分県立盲学校での ワークショップの紹介 (田中修二、田中佐和子)
14:10	休憩
14:20	基調講演／高見直宏
15:00	休憩
15:10	パネルディスカッション
16:10	質疑応答
16:25	閉会あいさつ

表面作品：「表象のエクトプラズム」高見 直宏,2021

会場参加用申し込みフォーム

シンポジウム会場での参加を希望される方は、以下の必要事項をご記入の上、
申込先(大分大学教育学部 田中修二研究室)までメールかファクスでお申し込みください。

E-mail: tnkshj@oita-u.ac.jp Fax:097-554-7596

フリガナ 氏名	住所	駐車場利用の希望 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	その他(主催者に伝えたいことなど)
所属先・職業	メールアドレス	電話番号	